

JFA こころのプロジェクト 夢先生プロフィール



かわぶち さぶろう
川淵 三郎

大阪府出身。高石小学校、高石中学校を卒業。小・中学時代は、水泳に野球、相撲と様々なスポーツを楽しんでいました。小学5年生で始めた演劇活動は高校2年まで続けました。高校はみくにおかこうこう三国丘高校に進み、サッカー一部に入部。卒業後、二浪時代を経て1957年、早稲田大学商学部入学。1958年には、サッカー日本代表選手に選抜されました。1960年に、ドイツ人コーチのクラマー氏のもと、初のヨーロッパ遠征に出発。合宿を行ったデュイスブルクのスポーツシュレでは、緑豊かな素晴らしいスポーツ環境に感激し、「いずれ日本にもこんな素晴らしい環境ができるといいな」と心に思い描きました。クラマーコーチの指導のもと、めきめきと力をつけた日本代表チームは、1964年の東京オリンピックで優勝候補のアルゼンチンに3-2で逆転勝利し、ベスト8入りを果たしました。選手引退後は、勤務していたふるかわでんこう古河電工でサッカー部の監督を務め、その後、日本代表監督やJSL（Jリーグの前身）の総務主事などを歴任。1991年には、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）初代チェアマンに就任しました。Jリーグでは、日本サッカーのレベルアップに力を注ぎながら、「Jリーグ百年構想」の合言葉のもとに「地域に根ざしたスポーツクラブ」「校庭の芝生化」などにも全力を尽くしました。2002年、日本と韓国で開催したFIFAワールドカップにも力を注ぎ、大会終了後の同年7月に日本サッカー協会のキャプテンに就任しました。